

1. 事業名

地域特性を活かした都道府県センター事業（石川県）

2. センターの名称等

- (1) センターの名称 : 石川県地球温暖化防止活動推進センター  
((社)いしかわ環境パートナーシップ県民会議)
- (2) 事業担当者名 : 事務局長 戸田修史郎  
電 話 076-232-3991  
FAX 番号 076-232-3992  
E-mail [info@eco-partner.net](mailto:info@eco-partner.net)  
直接担当者 泉 善博(連絡は上記に同じ)

3. 事業の概要

県内の家庭版環境ISOに取り組む家庭から得られたエネルギー使用量及び省エネルギー・省資源による二酸化炭素排出抑制量等のデータを解析し、取組家庭の省エネ診断を行う。

4. 事業の内容

(1) モデル家庭の確保

石川県との協力により、県内において家庭版環境ISOに取り組んでいる家庭の中から、概ね80家庭程度をモデル家庭として選定する。

(2) 調査の内容及び方法等

ア. 調査対象調査表

県が作成した家庭版環境ISO記録表に平成15年7月～12月において記録してもらい提出されたものを集計・解析の資料とした。

調査表では、負荷量調査、取組状況調査、取組宣言からなるが、今回の調査では負荷量調査表のみを用いることとする。

イ. 解析作業担当

全体の集計などは県及び当県民会議が行う。

個人の負荷量を評価し、各調査家庭の省エネ診断を今年度の調査内容とし、その解析作業を当県民会議が過去に実施した県民環境講座の受講生で規定の回数を受講した方及び環境カウンセラーの方の中から解析作業に参加意思のある方を選任16名(内1名は指導者)する。

ウ. 解析内容

・データの整合性、信憑性の評価・修正

調査表では明らかに桁ずれと思われるデータや記入もれのデータがあり、全体集計に問題は少ないとしても個人評価となると可能な限り、性格なデータとして

評価、修正を行う。

・省エネ診断

全体の二酸化炭素排出に関して排出量分布図等を作成し、各家庭がどこに位置するかを図示し、各家庭の省エネ診断を行う。

## 5. 事業の進捗状況

これまでに終了した作業を列記すると以下のとおりである。

- ・ 6月各家庭の集計データ入手（県から）、個人表原本は氏名の存在もあり非公開
- ・ 7月5日：全体集計解析結果入手
- ・ 7月11日：解析担当者を養成するための研修会の開催
- ・ 7月24日：研修会参加者31名の中から解析作業参加意思のある方17名を選任（アンケートにより参加意思を確認、7月14日アンケート発送、24日回収）
- ・ 9月11日：第1回解析打ち合わせ会開催  
解析に当たっての方向性の検討（16名参加）  
島田一則氏（住金セラミックス・アンド・クォーツ株式会社 本社工場次長  
環境カウンセラー）を指導者とすることを確認  
9月23日迄にデータの整合性チェックを行うことを確認（4班を編制）
- ・ 9月25日：第2回解析打ち合わせ  
4班で修正したデータを合体し全体ファイルとして提示し、再度修正の必要性等を検討  
自動車関連は別に評価することを確認（ばらつきが大きすぎる）  
記入漏れも電気等は先月と翌月の平均等で補間することを確認  
その作業を10月5日迄に事務局へ提出  
3週間後を目処に第3回解析打ち合わせを開催することを確認

## 6. 今後の作業内容

事務局で二酸化炭素の1家族平均排出量などを算出し、解析担当者は各家庭の比較図、表を作成し、省エネ診断を行う。

## 7. 期待される効果

各家庭のエネルギー使用量が平均値とどれくらい差があるのかが分かるので、どのような家庭で、どのようなエネルギーを削減できそうかの目安を得ることが出来ると考えられ、そこから各家庭へのエネルギー削減の普及・啓蒙を図る際の資料作成に資することが出来る。

以上